

2025 年 10 月 20 日 (月)
デジタルグリッド株式会社

再エネ取扱量が 2 年で 10 倍超に

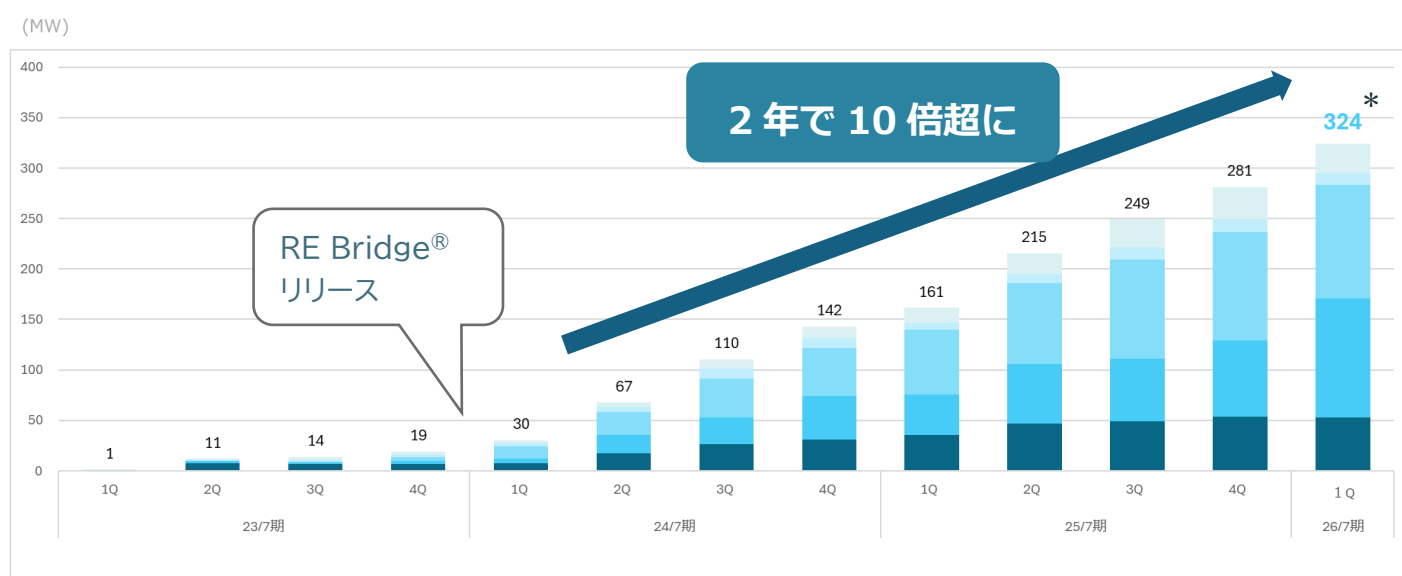
～電力 DX のデジタルグリッド 300MW 達成～

デジタルグリッド株式会社【本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:豊田祐介、東証グロース市場(350A)】は、この度、**再生可能エネルギー由来の発電所の取扱量が 300MW を達成**いたしました。

デジタルグリッドは、FIP 制度を活用した独自のバーチャル PPA（環境価値の売買契約）である「Green Purchase Agreement(GPA®)」と、再生可能エネルギーのマッチングプラットフォームである「RE Bridge®」を提供しています。「RE Bridge®」により、FIT 制度を使わずに再生可能エネルギーを売電したい発電家と、脱炭素目標に向けて再生可能エネルギーを調達したい需要家それぞれのニーズが加速されたことが主な要因とみています。

デジタルグリッドは、今後もお客様に価値あるサービスを提供するため、積極的に業務提携や提携先企業の開拓を進め、お客様の脱炭素目標の早期達成と 2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて邁進してまいります。

再エネ取扱容量



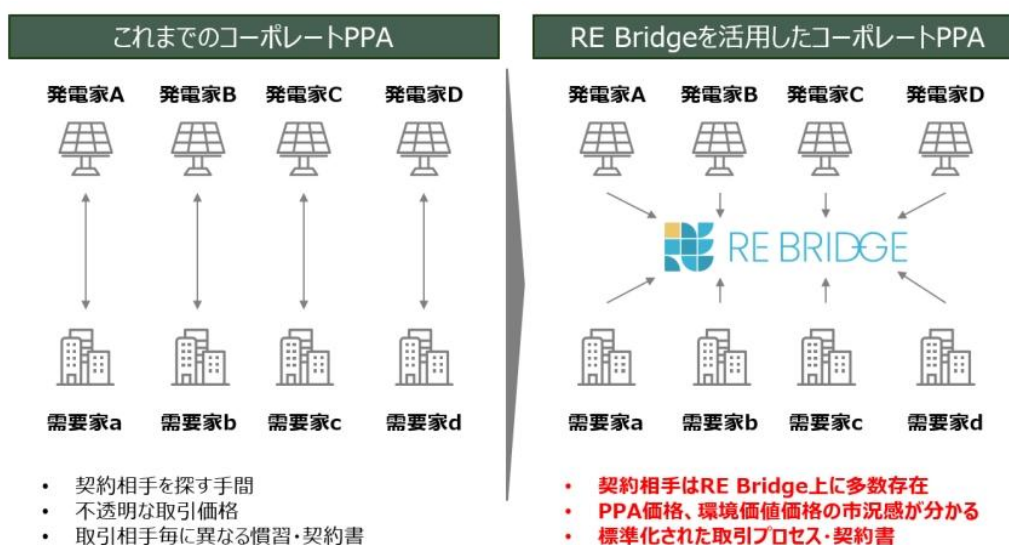
注 当データは、取引情報の速報値を収集したものであるため、今後修正・変更が発生する可能性があります

■フィジカルPPA ■バーチャルPPA ■balancing service ■power purchase agreement ■自己託送

* 10月20日時点

用語解説

- **環境価値**：再生可能エネルギーは CO₂を排出しない発電方法であり、その「環境に良い」という価値が環境価値です。この価値は、証書などを通じて取引され、企業の脱炭素経営に活用されます。
- **GPA[®]**：FIP 制度を活用した環境価値の直接取引「Green Purchase Agreement」の独自サービス名称。精算方法を工夫することで、需要家が購入する環境価値価格の変動を抑える設計にしています。
- **RE Bridge[®]**：電力の売り先を確保したい「発電家」と、追加性のある再生可能エネルギーを長期で安定調達したい「需要家」のマッチングプラットフォーム。需給管理業務はデジタルグリッドが担います。



- **balancingサービス**：小売電気事業者が行う需給管理業務を代行するサービス

会社概要 ▶25 年 4 月東証グロース市場に上場 ▶令和 6 年度 新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」

会 社 名：デジタルグリッド株式会社 (<http://www.digitalgrid.com/>)

代 表 者：代表取締役社長 CEO 豊田祐介

設 立：2017 年 10 月 資 本 金：1,139 百万円 従業員数：82 名（7 月末現在）

所 在 地：東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル 3 階

事業内容：電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営、分散型電源アグリゲーションサービスの提供

問い合わせ先

デジタルグリッド株式会社 広報室 安藤・石原 pr@digitalgrid.com

TEL 080-4350-2981 / 03-6256-0008